

## 東京大学見学および工学部電情報学専攻授業体験

2015年10月2日(金) 西宮市立西宮東高等学校、数理・科学コース1年生(53回生)40名が東京大学見学と工学部授業体験を行いました。

### ■時程

- 9:30 東京大学赤門前に集合
- 10:00～11:00 山崎俊彦先生による東京大学散策
- 11:00～12:00 工学部2号館で山崎俊彦先生による講義

### ■生徒の感想

- 第一に思ったのが、校舎がとても大きく、敷地が広い。
- 学生や教授が勉強に打ち込めるための設備が整っていてすごいと思いました。
- インターネットについて研究し発達させる側に立てるのはおもしろそうだと感じました。
- 東京大学に関しての多くの情報をわかりやすく説明していただきました。
- 個人的にお話しできてよかったです。
- 他の大学にはなかった建物がいくつかあったのが印象に残った。
- VIPがお茶をいれてもらうところが印象に残った。
- 写真からカロリーを計算したり、プレゼンテーションの解析についてのことが印象に残った。
- 講義の中で将来的に体力とコネと英語が必要だと聞いて大学受験までにその力をつけたいなと思いました。
- 昔からの名所や新しくできた名所、インターネットで調べただけでは知れない場所を回れて面白かったです。
- 私たちに身近なプリクラについての研究を情報の分野でしていることに驚きました。
- 「鶏口牛後」ではなく「牛後鶏口」で人とのつながりを大切にすべきだという話が印象に残りました。
- 設備がすごく整っていた。
- 東京大学でしか見られないものも多かった。
- 入学することは自分が学べる以外にもあることを学んだ。
- 実際に行ったことで知れたことが多くて、これも元に進路を決めたいと思いました。
- 東京大学が一番研究などにお金を使っていたことが印象に残りました。
- 東京大学の魅力などが知れてとても興味が持てました。これをきっかけに電子情報工学科についてもっと調べたいです。
- 「情報とは何か」というものがわかるような内容でした。

- 大学になる前からこの科があったことに驚いた。
- 銀杏がすごく落ちていたこと、見たことのある建物があったこと、人の顔つきが違うなと思った。
- すごくわかりやすく説明してくださった。
- 東大ってすごいと思った。
- 大学のキャンパスだけじゃなくて売店とか、食堂とかが豊富ですごいなと思った。
- 大学内の建物には歴史が色々あって古い建物だったり、有名な建築家を作ったりですごいと思った。
- 映像でその服に合う別の服を探してくれる機能は便利だしこまらないからいいと思った。
- 理学と工学の違いがよく分かった。
- 色々な研究をしていて、それが私たちの便利な生活につながっているんだと思った。
- キャンパスが大きく、建物の1つ1つも大きいものばかりであった。
- キャンパスの中にコンビニなどがあって便利だと思った。
- 工学はこれから先重要な学部であり、人数も他と比べてはるかに多いことが印象に残った。
- 将来のためには、体力、コネ、英語力と言っていたので色々な物と触れ合えるようになりたいのでがんばらないといけないと思った。
- 広くて、キャンパス内に様々な施設があり圧倒されました。
- 一つの分野をとっても社会では様々な方法で役立っているとわかりました。自分も大学で学びたいと強く思いました。
- 40日間の夏休みに20のワークをこなしたと聞いて自分にはどうていできないなと感じました。ですが次の夏休みそれに近いことに挑戦してみようかと思います。
- とても広くてきれいでかよえるならかよいたい
- 大学は工学科に行きたいと思った。
- 色々な豆知識などふまえながら説明してくれたのでとても興味を持ちながら散策できた。
- ハチ公が死んだ理由が寄生虫が内臓にいたというのがとてもおどろきました。
- テストで100点取ったことがきっかけで勉強をがんばれたのはおどろきました。僕ももっと勉強がんばればいい大学にいけるんだと思いました。
- ビル・ゲイツなどの有名人もたくさん訪れたことが印象に残りました。
- 電子情報工学科の中にも色々種類があるんだと思った。研究するときには仲間が必要なんだと思った。
- 安田講堂を含む多くの建築物は非常にうつくしかった。
- 今身につけなければならないことは英語、コネ、体力ということ、英語が入れほど重要かということが印象に残った。

- 大学の雰囲気がとてもよかったです。
- 様々な施設があって自分のやりたい事は全て東大でできると思いました。
- 様々な分野にわかれていて 1 つの学科の中にもたくさんの分野があることに驚きました。
- 講義はとてもわかりやすいものでした。東京大学についてよく知れたように思います。工学科の中ではロボットに一番興味がわきました。
- 早く大学生活を送ってみたいと思った。
- 医学部の棟に入ったが、色々な科がありすごかった。
- コンピュータについて色々なことができる人の技術、人間はすごいなと思った。
- 全て英語で書かれている教科書、少し不安になった。
- 山崎先生が高1の時点で「九大は厳しいでしょう」と言われたがその後努力して、東大に合格したことが印象に残った。
- 歴史がある建物もあって興味をもった。
- とてもハイレベルな研究だと思った。
- インターネットで調べてもわからないようなことまで聞けてとてもおもしろかったです。特に印象に残っているのはハチ公の臓器の展示です。少し、グロかったけどすごいと思いました。
- 理系に進むための勉強方法などとても参考になりました。
- ローソンやスターバックスコーヒーなどが校内にあるのが印象に残った。
- 最新技術を用いたプレゼン評価システムやスマートフォンのアプリケーションについて印象に残った。
- 人脈が大切だということは心に残りました。
- 学食を食べられなかった。広すぎて迷ったのが少し残念。
- 理学は神が作った美しい理論体系を解きほぐすもの、工学は人間が作るもの、芸術ということがわかった。
- 英語が大事ととても言っていたから苦手な英語を克服しようと思った。工学に興味を持った。
- 寄付で何個か建物が建っていたのがすごいと思った。
- 理系において、理学と工学についての思考の違いが良く分かった。
- 実際にハチ公の臓器がホルマリン漬けで展示されていたこと。
- 中にはアニメを参考にして研究テーマを決めていたものがあったこと。
- 東大を受験した話、講義後にプログラミングについて質問できたことが印象に残った。
- 赤門の説明が印象に残った。
- 情報の技術の発展に興味をもった。
- とても話がわかりやすくおもしろく、工学部ときくと難しいイメージだったけど、工学もおもしろそうだと思います。画像解析など最先端の研究のレベルが高くてすご

いと思いました。

- 東京大学の建物が古風でその雰囲気は東大らしさなのかなと思った。
- 現代で工学、特に電子情報はなくてはならない存在で社会で役に立てることを改めて知ることができたので学びたいと思った。
- 思っていたより気さくな方で講義も楽しく聞いた。
- 東京大学は、一つ一つの建物に歴史があり、貴重な物が多くあり、それを見て知ることができて充実した時間を過ごすことができました。
- 工学の分野が現代社会において、大きな役割を果たしていることを知ることができました。
- 自分がこれからどのように勉強していけばいいのか、将来について、考えるキッカケになってすごくよかったです。
- IC 関連施設でホコリがとても少なくなっているといったところに関心をもった。
- 東大に入るにあたっては何年かかっても入れないということが分かった。
- 友達、コネ、英語を大切にしようと思った。
- すごく広くて、施設も充実して、素敵だと思いました。外国人も多いので普段生活しているときにもネイティブな英語がきけるのでいいと思いました。
- ドラえもんや、私たちにでも分かりやすい例えで説明してくださって、よかったです。
- 先生の勉強法なども実際にきけて、これからの参考になると思いました。真似しながらがんばっていきたいと思います。
- 画像の認識のプログラミングなどはどういう命令文なのか非常に気になった。元々情報系が好きなので、色々教えてもらった気がしました。
- もっと、お固い感じなのかな、と思っていたので分かりやすく、かつ勉強になりました。情報処理の詳しいこと（特に今回の講義のような）もっと知りたいと思いました。
- 大学というよりも USJ のハリーポッターの町みたいいろいろなものがあって正直想像を越えていた。
- 東大についてのいろいろな角度から教えてもらったこと。東大の歴史に興味をもった。
- 理Ⅲの建物が周りとは違い、中でもいろんな研究をされていてすごかった。
- 研究のテーマが SF 小説などを参考にしていることが印象に残った。

#### ■東京大学での様子（東京大学構内）



工学部棟内での授業の様子

